

# 「健全化判断比率」及び「資金不足比率」に係る本県の状況について〔速報〕

平成30年9月  
総務部

## 1 健全化判断比率（4指標）の状況について（参考 標準財政規模 約3,282億円）

### （1）実質赤字比率（一般会計等に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率）

〈対象〉一般・公債管理・市町村振興・母子父子寡婦・小規模企業・農業改良・沿岸漁業・林業改善  
 〈状況〉比率なし（全会計とも黒字（又は収支均衡））

### （2）連結実質赤字比率（全会計に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率）

〈対象〉公営企業会計を含む全会計  
 〈状況〉比率なし（病院事業会計で資金不足が生じているものの全体では黒字）

### （3）実質公債費比率（一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模を基本とした額に対する比率）

〈対象〉全会計、一部事務組合等  
 〈状況〉H27～H29 平均 12.5%（H26～H28 平均 12.9%）

### （4）将来負担比率（公営企業、出資法人等を含めた、一般会計等が将来負担すべき実質的負担の標準財政規模を基本とした額に対する比率）

〈対象〉全会計、一部事務組合等、地方独立行政法人、地方公社・第三セクター等（道路公社・土地開発公社・損失補償を付している法人）  
 〈状況〉236.6%（H28 233.1%）

## 2 公営企業における資金不足比率の状況について

資金不足比率・・・資金不足額の事業の規模に対する比率（公営企業ごと）

〈対象〉電気・工業用水道・資産運用・水道・病院・土地取得・流域下水道・港湾整備  
 〈状況〉病院事業会計で12.1%（H28 3.1%）  
 その他の会計については比率なし

### 《参考》早期（経営）健全化基準及び財政再生基準について（県基準）

比率名	H29	H28	早期(経営)健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	比率なし	比率なし	3.75%	5%
連結実質赤字比率	比率なし	比率なし	8.75%	15%
実質公債費比率	12.5%	12.9%	25%	35%
将来負担比率	236.6%	233.1%	400%	
資金不足比率(病院事業会計)	12.1%	3.1%	20%	
〃 (その他)	比率なし	比率なし	20%	

以上